

安保法案・参院採決で「セクハラ暴行疑惑」

自民刑事告訴も検討

安全保障関連法案の参院特別委員会での採決



民主・津田氏が大沼氏を羽交い締め引きずり

(17日)の際、自民党の大沼瑞穂参院議員(36、山形選挙区)が、民主党の津田弥太郎参院議員(63、比例代表)と顔写しから暴行を受けたとされる疑惑について、自民党執行部は連休明けの24日にも協議し、党として正式な対応を決める。刑事告訴も選択肢の一つとされ、党内からは「最低でも懲罰動議だ」という声も聞こえてくる。

関係者によると、参院第1委員会室で採決が行われた際、大沼氏が委員会議室後部の通路にいたところ、津田氏に背後から羽交い締めにされて後ろに引きずられ、投げ飛ば



大沼みず

大沼氏の右手には包帯が巻かれ、痛々しかった—18日午後、参院本会議場

されたという。大沼氏は「ユートチューブ」では右手の薬指と小指を突き指し、病院で治療を受け、診断書も作成した。00件を超えており、関

前代未聞の「セクハラ暴行」疑惑は、映像にも残されている。動画サイ

心の高さがうかがえる。大沼氏は採決後、産経新聞の取材に対し、「想像を絶する暴力的セクハラ行為に非常にショックを受けている」と返答。津田氏は同紙の取材に「関係ない」と答えた。この件は連休中、20日のフジテレビ系「新報道

お店でもネットでも安心
HDパナカメラ

2001」でも取り上げられた。自民党の稲田朋美政調会長は「これはま

さしく犯罪行為だ。民主主義国家として、法の支配の日本として大変恥ずかしい」と指摘した。

すでに「手打ち」情報も

これに対し、民主党の連舫代表代行は「その話は泥沼になる」「わが党の議員も殴られたり、押し倒されたり、あざができている」などと語った。

自民党の対応が注目されるなか、永田町では

「自民党と民主党の参院幹部が手打ちをしたようだ」という未確認情報も流れているが、それでは国民の理解は得られそうにない。